

令和6年度

入善町立入善小学校

令和7年3月14日



学校だより



学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

コロナ禍を越えての卒業

校長 内山 真之

卒業する本校の6年生について、いろいろな方にお話を聞いてみました。

6年生担任の先生は、「ランチルームで給食をこぼした低学年がいて、その子の話を笑顔でずっと聞いてあげているのです。そして、そっと机を拭いてあげるのです。感動しました。」

6年生の日々の姿が感じられます。

1年生担任の先生は、「本当によく1年生と遊んでくれました。プロジェクト活動ではなく、自分たちの意思で、今も毎日、たくさんの6年生が1年教室に来てくれる。だから、1年生は6年生が大好きです」



6年生が、3年生の時のことです。当時の担任の先生は、「6年生を送る会のダンスと劇を自分たちで考え、どんどん創っていきました。休み時間にも自分たちで集まって活動しているのです。私たちよりも、子供たちがいつも上をいくんですよ」と笑って話されました。

6年生が、1年生の時のことです。「6年生を送る会」を終えた後、その日の午後から突然、「休校」になりました。新型コロナウイルス感染症対策により、「全国すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が臨時休業」となりました。6年生を送る会の出し物を終えた1年生に「長い休校」が告げられます。明日から、みんなに会えなくなると、ずっと泣いていたそうです。

その時、ある子が、「こんな時こそ、みんなで笑って終わろうよ」と言いました。そして、みんなで大笑いして、長い休校に入ったのでした。

そんなコロナ禍を経験しながらも、優しく、たくましく6年生は育ちました。いつも子供たちを支えてくださった地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

3月17日（月）、令和6年度の卒業式を迎えます。

6年生を送る会を終えて

3年 篠瀬心乃美

私たちは6年生と玉入れをした時に、3年生が勝ちました。6年生は、きっと手かげんしてくれたんだなと思いました。3年生が勝ったときに、6年生はくやしがらずに、はく手をしてくれました。その時、6年生は、やっぱりいろんなことができて、いつもみんなにやさしくしてくれるから、友達がいっぱいいるんだなと思いました。

私も6年生みたいになりたいなと思いました。

令和6年度最後の「学校だより」になります。1年間ありがとうございました。

2月19日 6年生を送る会

6年生を送る会を5年生の企画で、実施しました。会場全体が笑顔に溢れていて、これまで学校の中心として活躍してくれた6年生への感謝の気持ちが伝わった6年生を送る会でした。5年生の企画・運営も素晴らしい、次の6年生になる心構えができたことでしょう。今年度は、たてわり活動をしているので、6年生は身近な存在になっているようです。



3月5日 なわとび集会（大なわ大会）

「なわとび集会（大なわ大会）」でした。どの学年も前日や当日に「学級記録」を更新しましたので、一番伸び盛りの頃です。結果は、1位は6年B組、2位は5年A組、3位は6年A組でした。さすがは、高学年でした。学級の「目標回数」を達成できなかった教室もあるでしょうが、「学級力を高める」という目的は、十分に達成しました。



2月27日、3月6日、3月11日 卒業式に向けて合唱練習

6年生の卒業式に向けての「特別合唱指導」でした。元入善小学校の校長先生で、富山県内で合唱指導をしておられる宮崎新悟先生が指導に来てくださっています。今年の6年生は、「とても上手い」ということです。卒業式には、素晴らしい合唱をお聴きください。在校生の合唱指導には、亀田絹子先生にお願いしています。卒業式の合唱が楽しみです。

